

多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画（案）に対するパブリックコメント

【はじめに】

多摩センター駅周辺地区は、「多摩ニュータウン」の中心地区であり、計画的な都市基盤の上に住環境が整備され、多くの商業、業務施設が立ち並び、成熟した都市環境が形成されてきました。しかし、年月の経過とともに、施設の老朽化、バリアフリーへの要請など、課題が顕在化しつつあります。また、時代の変化に合わせたコンパクトな都市構造への再編も急務となっており、多摩センター駅周辺地区において、賑わいの創出や回遊性の向上を図り、多摩ニュータウンの広域拠点・駅拠点としてふさわしい、魅力あふれる街づくりを推進する必要があります。

この広域拠点・駅拠点としてふさわしい魅力と賑わいあふれる街づくりを実現するため、都市再生特別措置法第 46 条第 1 項の規定による「都市再生整備計画」を多摩センター駅周辺地区に策定し、社会資本整備総合交付金（※注）を活用したハード・ソフトの基幹事業及び計画期間に合わせた関連事業を実施する予定です。

このたび「多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画（案）」を策定しましたので計画（案）に対し広く市民の皆様の意見を募集します。

（※注）「社会資本整備総合交付金」

地方公共団体等が行う社会資本の整備その他の取り組みを国が支援することにより、交通の安全の確保とその円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善及び国土の保全と開発並びに住生活の安定の確保及び向上を図ることを目的とした交付金制度。

多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画（案）の概要（別紙参照）

（１）都市再生整備計画の目標

コンパクトな都市構造への再編を目指す多摩ニュータウンの広域拠点・駅拠点にふさわしい魅力と賑わいあふれる街づくり

（２）都市再生整備計画区域

多摩センター駅周辺商業地域及び第二種住居地域の約 6.3ha

（３）都市再生整備計画期間

平成 29 年度～平成 33 年度

（４）都市再生整備計画の事業概要

社会資本整備総合交付金対象予定事業

高質空間形成施設

○エスカレーターの設置（H29～H32 年度事業予定 概算事業費 760 百万円）

バスロータリーからペDESTリアンデッキにかかる階段にエスカレーターを設置することで、地区の回遊性と移動の連続性を強化します。

○ストリートファニチャー等の設置（H29～H33 年度事業予定 概算事業費 26.5 百万円）
オープンカフェと併せ高質な滞留空間を創設することで地区の魅力を向上させます。

地域生活基盤施設

○案内板・サインの設置（H30～H32 年度事業予定 概算事業費 77.5 百万円）
外国人観光客含む来訪者の誰もがわかりやすい空間の整備のため、情報案内板やサインを整備します。

事業活用調査

○事後評価調査事業（H33 年度事業予定 概算事業費 3 百万円）
都市再生整備計画によって得られた成果やその実施過程、成果の要因などを客観的に評価・分析し、今後のまちづくりのあり方を検討します。

道路占用許可の特例活用（ソフト事業）

○オープンカフェ事業（H29～H33 年度事業予定）
都市再生整備計画を策定することにより活用出来る道路占用許可の特例を使いオープンカフェを設置し、街の賑わいを創出します。

関連事業（交付金対象事業ではないが都市再生整備計画に位置付け実施する事業）

○ペDESTロリアンデッキの改良

多摩センター駅からパルテノン多摩や図書館等への動線となるペDESTロリアンデッキの通行の安全性や快適性の向上を図るための改修を行います。

○バスロータリー・エレベーターの改修

利用者の多い駅前バスロータリーのリニューアルを行い、交通結節点の円滑な動線確保及び来訪者にやさしい街を推進します。

○多摩中央公園のバリアフリー整備

パルテノン多摩及び多摩中央公園周辺について、アクセスに係る段差解消など、バリアフリー化を図るため、スロープ等を設置します。

○パルテノン多摩の改修

今後さらに文化芸術活動の拠点施設として多くの皆さんに利用していただくため、老朽化対応、安全への配慮、更なる価値の創造に向けて改修します。

その他事業

○図書館本館の整備

現在、市民・学識経験者等で構成する「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」で再整備について検討しています。